

# 福光中部小だより

令和7年10月21日

No.543

南砺市立福光中部小学校

E-mail es\_fukumitsuchubu@nanto.ed.jp

ホームページ



## 思いや願いを明らかにして、主体的に学ぶ子供の育成を目指して

教務主任 松本 恵美

9月24日(水)、早稲田大学 藤井千春教授を講師にお迎えし、第47回自啓教育研究発表会を開催しました。今年度は、1、4、6年の「聴き合いタイム」と、3年社会科「福光大火とたたかったヒーロー ～火事からくらしをまもれ!～」、5年総合的な学習の時間「育てよう、命を守る力 ～私の防災ストーリー～」の授業を公開しました。

3年の授業では、南砺市内の消防団の人の数が減少傾向にあるという事実から、「この先、火事から南砺市の人々のくらしを守ることはできるのか。」と問題意識をもち、自分にできることを考えて話し合う姿が見られました。5年の授業では、「自分の命を自分で守る」ために、子供一人一人が思いや願いをもち、自分でテーマを選んで仲間と協働しながら追究を進めたり、互いの追究について聴き合ったりする姿が見られました。

講師の藤井教授からは、本校の「聴き合いタイム」について、「自分の言葉で心の動きを語っていたこと、そして、それを周りの子供たちが友達の気持ちを汲み取って聴いてくれることが信頼関係を生み、温かい学級集団づくりにつながる」とご示唆いただきました。また、参観いただいた方から、



【消防団について、  
自分の思いを語る3年生】

- ・教師が、「学びの主角は子供」と捉え、環境を整えることの大切さがよく分かりました。教師の熱い思いがあって、子供も意欲的に学ぶことができるのだと再認識しました。
- ・第一発言者の思いを聴き合う時間を大切にして授業が進められていました。毎朝の聴き合いタイムの実践が土台となっていたと思います。
- ・授業に興味をもって学ぼうとしている姿、楽しみながら学びを進めている子供が多いと感じました。知りたい、学びたいという意欲をもって主体的に学ぶ子供たちの今後の成長が楽しみになる授業でした。

と貴重なご意見をいただきました。

今年度のアクションプランの一つに「自ら学び、進んで表現する子供」とあります。今回の研究発表会での学びを基に、自啓教育を学校運営の柱として、子供たちの主体性の育成に努めていきたいと思っています。



【防災グッズを準備する5年生】

## 11月の行事予定

|           |                            |        |  |
|-----------|----------------------------|--------|--|
| 11月 4日(火) | 全校集団下校                     | 13日(木) | 6年校外学習、委員会活動                                     |
| 5日(水)     | 4年万博交流プログラム                | 14日(金) | 歯科健診(3・6年)                                       |
| 6日(木)     | 教育課程研究集会(給食なし)             | 19日(水) | 歯科健診(1・4年)                                       |
| 9日(日)     | PTA 資源回収8:00~10:00         | 20日(木) | 学習参観、2年おし歯予防教室<br>クラブ活動(参観)                      |
| 10日(月)    | 4年校外学習                     | 27日(木) | 委員会活動、アルミ缶回収                                     |
| 11日(火)    | 6年校外学習                     | 28日(金) | 学期末特別日課開始(5限後下校、12月5日まで)、アルミ缶回収<br>ファミリー読書、ズック洗い |
| 12日(水)    | 歯科健診(2・5年、特支)<br>5年おし歯予防教室 |        |  |



## 本に親しむ中部っ子を支えるために ～図書委員会の活動から～

図書担当

「返します。」「借ります。」「はい、どうぞ。」

休み時間になると、たくさんの子供たちが、図書室のカウンターに本を持って並びます。図書委員の子供たちは、手際よくバーコード処理をしたりシールを印刷して渡したりしています。昨年度から、「南砺市内図書館共通図書システム」が導入され、タブレット端末を通して、南砺市内図書館の本を学校で受け渡しできるようになり、図書室を利用する子供たちも増えてきています。そのため、図書委員の子供たちは、当番の日でなくても、自主的に図書室に来て、仕事をしてくれています。



また、図書委員会では、1学期には、全校の子供たちが、いろいろな本に親しむきっかけとなるようにと、学年ごとに読みそうなジャンルの本を 【「借ります」「返します」「はいどうぞ」】 選び、「読書ビンゴ」を行いました。そして、今は、11月の委員会ウィークに向け、「読み聞かせクイズ」と「本さがしゲーム」を企画し、準備を進めています。

「読書の秋」です。中部っ子がもっと本に親しめるようにと、図書委員会の子供たちは、毎日の貸し出し活動に、そして、楽しい企画の準備にと積極的に取り組んでいます。



## ダイナミックな活動を展開！

つくし・たんぽぽ・ひまわり・すみれ・すまいる学級担当

毎週水曜日1限の自立活動の授業では、普段はできないダイナミックな活動を展開しています。今回は、跳び箱の上に平均台を乗せ、下にマットを敷いて活動しています。個々のレベルに合わせて、高さを変えたり、傾斜の角度を変えたりして、いくつものコースを作ります。この時に、1～6年全員で協力しながらコースを作ります。本来のねらいである「身体の動き」や「コミュニケーション」、「心理的な安定」の他に、「人間関係の形成」が養われます。また、動的バランス、身体意識、社会性も育まれます。



【自立活動の様子】

この活動を通して、ぎこちない動きをしていた子が少しずつスムーズに体を動かすことができるようになりました。今後も、子供たちが楽しみながら活動を継続できるよう支えていきます。